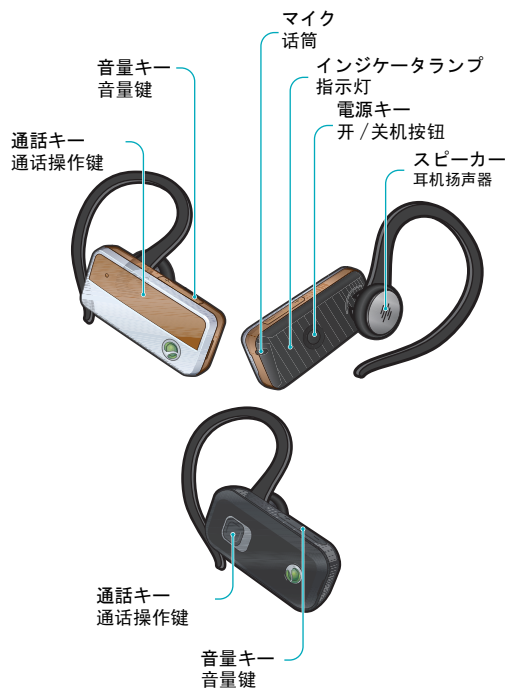


User guide

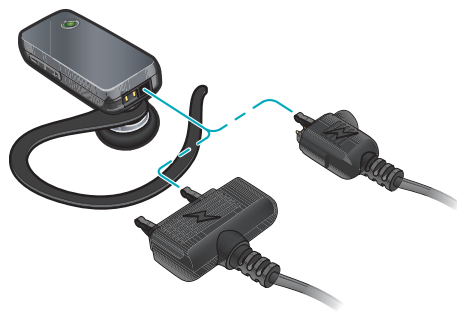
日本語
簡体中文
繁體中文
한국어

HBH-PV715MK2 and HBH-PV720

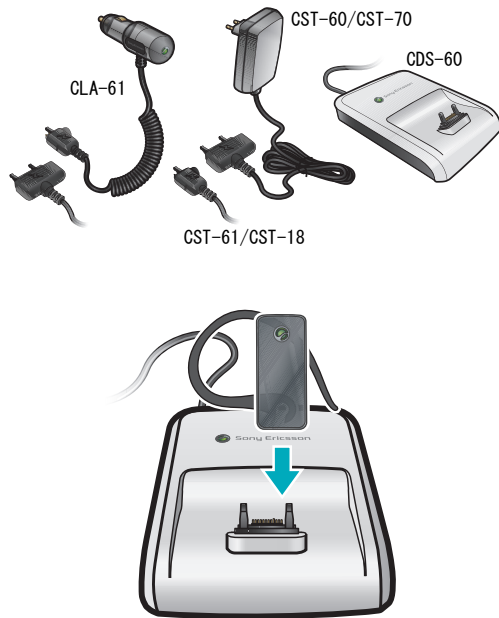
1



2

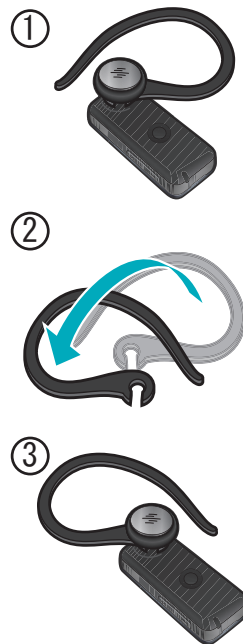


3

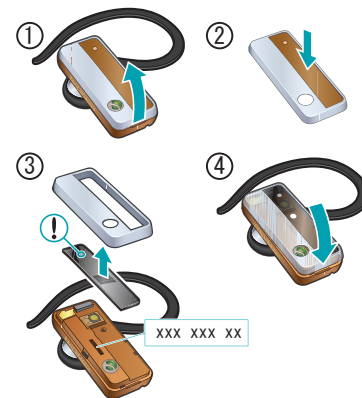


注) 国や地域によって取扱いのない場合があります。

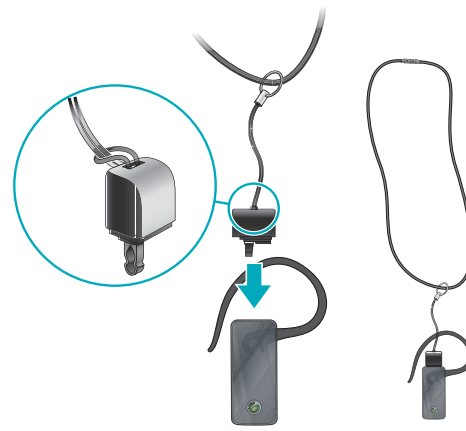
4



5



6



FCC Statement

This device complies with Part 15 of the FCC rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation. Any change or modification not expressly approved by Sony Ericsson may void the user's authority to operate the equipment. This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause interference to radio or television reception, which can be corrected by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Industry Canada Statement

This device complies with RSS-210 of Industry Canada. Operation is subject to the following two conditions: (1) this device may not cause interference, and (2) this device must accept any interference, including interference that may cause undesired operation of the device. This Class B digital apparatus complies with Canadian ICES-003. Cet appareil numérique de la classe B est conforme à la norme NMB-003 du Canada.

Declaration of conformity for HBH-PV715 and HBH-PV720

We, Sony Ericsson Mobile Communications AB of Nya Vattentornet SE-221 88 Lund, Sweden declare under our sole responsibility that our product Sony Ericsson type DDA-0002018

and in combination with our accessories, to which this declaration relates is in conformity with the appropriate standards EN 300 328:V1.7.1, EN 301 489-7:V1.3.1, EN 301 489-17:V1.2.1 and EN 60950-1:2006 following the provisions of Radio Equipment and Telecommunication Equipment directive 99/5/EC.

Lund, May 2008

Jacob Sten, Head of Product Business Unit Accessories
本製品は、R&TTE 条項に適合しています。
我們符合 R&TTE 指令 (99/5/EC) 的要求。
我們符合 R&TTE Directive 規範的要求。
당사는 R&TTE Directive를 준수합니다.

Jacob Sten, Head of Product Business Unit Accessories

CE 0682

CE 0682

CE 0682

CE 0682

日本語

ワイヤレスヘッドセット HBH-PV715MK2 および HBH-PV720 は、ハンズフリーまたはヘッドセットプロファイル (*) に対応している Bluetooth 無線技術を備えた機器に接続できます。
(*プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとの通信規格のことです。

ヘッドセットの充電

HBH-PV715MK2 または HBH-PV720 を初めて使用する場合は、付属の充電器を使用してください (図 2 を参照) 互換性のある充電器については、図 3 を参照してください。

ヘッドセットのオンとオフ

キーについては、図 1 を参照してください。

ヘッドセットをオンにするには

電源キーを押します。インジケータランプが約 3 秒間点灯し、消えるとヘッドセットはオンになります。(インジケータランプが赤の場合は、電池残量が少ないことを示します。ヘッドセットを充電する必要があります。) ヘッドセットがオンの状態かどうかを確認するには、電源キーを押します。オンの場合、インジケータランプが緑で点灯後、電池残量に応じて 1~3 回点滅します。

ヘッドセットをオフにするには

インジケータランプが緑に点灯するまで電源キーを長押しします。(インジケータランプが赤の場合は、電池残量が少ないことを示します。ヘッドセットを充電する必要があります。) 約 2 秒後にランプが消えヘッドセットはオフの状態になります。

ヘッドセットのペアリング (登録)

ヘッドセットを使用する前に、ヘッドセットと携帯電話のペアリングが必要です。一度ペアリングすれば次回からペアリングする必要はありません。

ヘッドセットと携帯電話をペアリングするには

1. ヘッドセットがオフになっていることを確認してください。
 2. 携帯電話をヘッドセットに近づけます。
 3. ヘッドセットの電源キーを、ヘッドセットの通知音が鳴って、インジケータランプが点滅するまで長押しします。
 4. 携帯電話の Bluetooth 機能をオンにします。手順については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
 5. 携帯電話の Bluetooth 検索 (探索) モードをオンにします。
 6. 携帯電話の画面に表示された「HBH-PV715」または「HBH-PV720」を選択します。
 7. 携帯電話にペアリングするかどうかを尋ねる質問が表示されたら、「はい」または「OK」を選択します。
 8. 携帯電話にパスキー (*) 0000 を入力します。ペアリングが完了すると、通知音が鳴り、インジケータランプが消えます。
- (*)パスキーは 0000 です。
パスキーは、パスワード、PIN コード、PIN ナンバーパスワードなどと呼ばれる場合があります。

ヘッドセットを装着する

イヤフックを耳の裏にスライドし、マイクを口に近づけます。イヤフックの向きは図 4 のように変更できます。

通話

ペアリング済みのヘッドセットと携帯電話が接続されている間は、ヘッドセットを使用して電話の着信応答、着信拒否、通話、終話、リダイヤルが可能です。障害物や壁がある場合や、携帯電話から約 5m 以上離れた場合、音質が劣化することがあります。より良いパフォーマンスを得るには、携帯電話を装着している側と同じ身体の側の耳にヘッドセットを装着します。

電話をかけるには

携帯電話のキーを使用して、通常通りに番号をダイヤルします。自動的にヘッドセットで通話できるようになります。発信後ヘッドセットで自動的に通話ができない場合は、ヘッドセットの通話キーを押すか、携帯電話を操作してください。携帯電話の操作方法は携帯電話の取扱説明書を参照してください。

電話を切るには

通話中に、ヘッドセットの通話キーを押します。

電話に出るには

着信中に、ヘッドセットの通話キーを押します。

着信を拒否するには

着信中にヘッドセットの通話キーを、短い通知音が鳴るまで長押しします (約 2 秒間)。

最後にかけた電話番号にリダイヤルするには

ヘッドセットの通話キーを 1 秒以内に 2 度押しします。

マイクをオフ (消音) するには

両方の音量キーを同時に押します。消音は通知音で示されます。繰り返すと、マイクは再びオンになります。

音量の調節

電話の音量を調節するには

ヘッドセットがオンで、電話をかけていないとき、または電話が鳴っているときに、音量キーを押します。

受話音量の音量を調節するには

通話中に、音量キーを押します。

ボイスダイヤルを使った通話

ヘッドセットを使用し、携帯電話が近くにない場合は、ボイスダイヤルが役立つ場合があります。ボイスダイヤルについては、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

ボイスダイヤルを使って電話をかけるには

通話キーを押し、通知音が鳴ったら電話帳登録の名前などを言います。

注: ボイスダイヤルの使用を開始する前に、携帯電話でボイスダイヤルが有効になっているか確認します。携帯電話によっては呼び出し名を事前に録音する必要があります。

音声の転送

音声を携帯電話からヘッドセットに転送するには携帯電話で通話中に、接続中のヘッドセットの通話キーを押します。音声ヘッドセットに転送されます。携帯電話を操作して音声をヘッドセットへ転送する方法については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

音声をヘッドセットから携帯電話に転送するには

携帯電話の取扱説明書を参照してください。

電池

長時間使用していない場合や電池が新しい場合は、充電容量が下がることがあり、数回の再充電が必要になることがあります。

電池を充電する必要がある場合は、インジケータランプが赤で点滅し、低い通知音が鳴ります。ヘッドセットを充電しないと、自動的にオフになります。

電池の状態を確認するには

- ヘッドセットがオンの状態で電源キーを押します。
- 緑の点灯後に緑の点滅が 1 回 - 電池の充電がすぐに必要です。
 - 緑の点灯後に 2 回の点滅 - 電池の残量が半分程度です。
 - 緑の点灯後に 3 回の点滅 - 電池は完全に充電されています。

ヘッドセットのリセット

1. ヘッドセットをオフにします。
2. インジケータランプが赤と緑で交互に点滅するまで、電源キーを長押しします。
3. ヘッドセットがオフになるまで、電源キーと通話キーを同時に長押しします。

ストラップの装着

ストラップを装着するには、図 6 を参照してください。

技術基準適合証明などの表示

技術基準適合証明などを確認するには、図 5 を参照してください。